

## 腎・膠原病内科 後期研修プログラム

### 1. 診療科の特色

腎炎・ネフローゼ、腎不全、透析治療など腎疾患全般から膠原病・血管炎などの特殊な疾患まで幅広い診療を行っている。透析ベッドは20台と限られているため、慢性維持血液透析の多くは近隣の透析施設に紹介しており、当院では透析導入・合併症発生時など急性期管理を主に行っている。慢性腎不全に対しては血液透析だけでなく腹膜透析（夜間APDも含め）も施行している。院内、院外で発生した急性腎不全症例の対応、他科からの依頼により肝不全に対する血漿交換、敗血症や潰瘍性大腸炎に対する吸着療法など種々の血液浄化法を行っている。膠原病では皮膚、関節、肺、心臓、肝臓、神経、血液など全身臓器にわたり障害をきたすため、皮膚科や整形外科など他科と密接に連携し診療を行っている。

### 2. 研修期間

3年間の研修を基本とする。

### 3. 目標

#### 一般目標

3年間の研修にて腎臓病、血液浄化療法、膠原病についてよく理解し、診断手順、治療手技を習得し専門医としての能力を身に付ける。

#### 個別目標

尿異常、腎機能障害患者の診察、鑑別診断、検査、治療の進め方を習得する

浮腫、電解質異常、酸塩基平衡異常などの体液異常に対応できる

腎炎、ネフローゼ症候群の患者の診察、検査、治療の進め方を習得する

慢性腎不全患者の保存期治療、透析導入、維持透析の管理ができる

維持透析患者の病態と特性を理解し、その合併症に対応できる

急性腎不全の診断、治療ができる

集中治療室での血液浄化療法およびその管理ができる

腎生検の適応と禁忌を理解し、安全に施行し病理診断ができる。

バスキュラーアクセス作成と管理ができる

バスキュラーカテーテル留置ができる

血液透析装置の組み立て、操作ができる

腹膜透析の導入と管理ができる

血液浄化療法の種類と適応を理解する。

腎移植に関する知識を身に付ける。

膠原病の診療に必要な問診、診察手技を行うことができる

膠原病の診療に必要な尿、血液検査、画像検査等を実施し結果を解釈できる。

各種膠原病の特徴を理解し正しく診断し、鑑別診断を述べることができる。  
膠原病の診療に必要な治療薬について適応、禁忌、副作用を理解し、実際に処方してその効果判定ができる。

**4 . 方略** (日本腎臓学会、日本透析医学会、日本リウマチ学会などで発表を行う)

	月	火	水	木	金
午前	透析室	透析室	透析室	透析室	透析室
午後	病棟	腎生検 内科会	シャント手術 カンファレンス	透析カンファレンス	CAPD 外来腎病 理カンファレンス

**5 . 評価**

コミュニケーションシートを用いて半年毎に面接・評価を行う